

## PPPで北九州に キャンプ場を整備

オリコンサル

オリエンタルコンサルタンツは7月27日、北九州市内にPPP事業でキャンプ場「HIBIKINADA CAMP BASE（仮称、ヒビキナダ・キャンプ・ベース）」を整備・運営すると発表した。約1万6000平方メートルの敷地に宿泊サイトとして58区画を整備する。事業規模は約2億円。都市公園法による設置管理許可による事業とし、事業期間は10年間を予定。10月に工事に着手し、2023

キャンプ場の完成イメージ  
（報道発表資料から）



年3月のオープンを目指す。同社と福岡放送が共同出資して設立した「響灘アイバンアウトドアパートナー

ズ」がキャンプ場整備・運営の事業主体となる。北九州市立「響灘緑地／グリーンパーク」敷地内の「ひびきプレイランド」跡地にキャンプ場を整備する。グリーンパークは14年度からオリエンタルコンサルタンツが指定管理者として運営している。

建物は管理棟1棟、シャワー設備などがある炊事棟1棟を整備する。建築デザインと設計をSUEPの末光弘和氏、ランドスケープと土木設計をオリエンタルコンサルタンツが担当する。